

資料 2-3

記録条件仕様の変更等について

「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」（令和 3 年 6 月 11 日法律第 66 号）により、令和 6 年 3 月から医療扶助におけるオンライン資格確認の実施が開始されることに伴い、「オンラインによる請求に係る記録条件仕様」等を更新する予定としているのでお知らせします。

○ 更新内容

「オンラインによる請求に係る記録条件仕様」

1 1 レセプト内のレコードの種類及び記録順の表の注釈の次の文言を変更した。

【変更後】	【変更前】
表中「可※2」のレコードは、訪問看護ステーションからの請求時は、保険者レコード及び公費レコード(公費負担医療の 12 から始まる負担者番号のみ)に対応する資格確認レコードを記録する。	表中「可※2」のレコードは、訪問看護ステーションからの請求時は、保険者レコードに対応する資格確認レコードを記録する。

2 レセプト種別ごとのレセプト情報の記録条件の表及び注釈を次のとおり変更・追加した。

【変更後】	【変更前】
・レセプト種別：医療保険と 1～4 種の公費負担医療の併用 資格確認レコード：△ (1～5レコード記録) ・レセプト種別：公費負担医療単独 資格確認レコード：△ (1レコード記録)	・レセプト種別：医療保険と 1～4 種の公費負担医療の併用 資格確認レコード：△ (1レコード記録) ・レセプト種別：公費負担医療単独 資格確認レコード：×

【変更後】	【変更前】
<p>・レセプト種別：2～4種の公費負担医療の併用</p> <p>資格確認レコード：△（1～4レコード記録）</p> <p>・訪問看護ステーションからの請求時は、<u>保険者レコード及び公費レコード（公費負担医療の12から始まる負担者番号のみ）</u>に対応する資格確認レコードを記録する。</p> <p>【追加文言】</p> <p><u>なお、資格確認レコードの記録条件として、公費レコードに公費負担医療の12から始まる負担者番号を記録する場合は記録任意とし、それ以外の負担者番号の場合は記録不可とする。</u></p>	<p>・レセプト種別：2～4種の公費負担医療の併用</p> <p>資格確認レコード：×</p> <p>・訪問看護ステーションからの請求時は、<u>保険者レコードに対応する資格確認レコードを記録する。</u></p>

3 「資格確認（SN）レコード」の「受給者番号」の備考欄に次の文言を追加した。

【変更後】	【変更前】
<p>【追加文言】</p> <p><u>1 一次請求の場合は、記録を省略する。</u></p> <p><u>2 履歴請求データについては、審査支払機関で記録されたままとする。</u></p>	

4 「資格確認（SN）レコード」の注釈の次の文言を変更・追加した。

【変更後】	【変更前】
<p>訪問看護ステーションからの請求時は、「負担者種別」項目が「1（医療保険、国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療）」である場合は、<u>保険者レコードを記録したうえで、「確認区分」項目及び「枝番」項目を記録する。</u></p> <p>【追加文言】</p> <p>・ <u>また、「負担者種別」項目が「2（第1公費負担医療）」～「5（第4公費負担医療）」である場合は、対応する公費レコード（公費負担医療の12から始まる負担者番号のみ）を記録したうえで、</u></p>	<p>訪問看護ステーションからの請求時は、「負担者種別」項目が「1（医療保険、国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療）」である場合、「確認区分」項目及び「枝番」項目を記録する。</p>

<u>「確認区分」項目を記録する。</u> ・ <u>資格確認レコードを複数記録する場合、別表 24 負担者種別コードの昇順で記録する。</u>	
---	--

5 「受診日等（JD）レコード」の注釈に次の文言を追加した。

【変更後】	【変更前】
【追加文言】 <u>受診日等レコードを複数記録する場合、別表 24 負担者種別コードの昇順で記録する。</u>	

6 「別表 25 確認区分コード」の次の項目を変更した。

【変更後】	【変更前】
「06 レセプト記載の保険者 <u>等</u> に請求」	「06 レセプト記載の保険者への請求」